

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 21 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県飯塚市

住 所

忠隈71番地4

氏 名

Reプロジェクト株式会社

代表取締役 岩本達也

電話番号 0948-52-3580

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	Reプロジェクト株式会社
事業場の所在地	福岡県飯塚市忠隈71番地4
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	完成工事高：814,43万円（令和6年度実績）
③ 従業員数	11人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類⇒中間処理場へ搬出 木くず⇒中間処理場へ搬出 ガラスくず⇒中間処理場へ搬出 廃プラスチック類⇒中間処理場へ搬出 石膏ボード⇒中間処理場へ搬出 紙くず⇒中間処理場へ搬出 建設混合廃棄物⇒中間処理場へ搬出 金属くず⇒中間処理場へ搬出 石綿含有産業廃棄物⇒埋立処理場へ搬出

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者⇒廃棄物担当者⇒現場監督員⇒作業従事者



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	913.6 t	129.7 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	排出量	40.6 t	12.7 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	管理型混合廃棄物
	排出量	1.2 t	21.0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
排出量	0.3 t	3.1 t	
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
（これまでに実施した取組） 再生利用可能に寄与するべく、工事現場内での選別作業を徹底させた。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	900.0 t	100.0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	排出量	20.0 t	10.0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	管理型混合廃棄物
	排出量	1.0 t	15.0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
排出量	0.1 t	2.0 t	
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
（今後実施する予定の取組） 再生利用可能に寄与するべく、引き続き工事現場内での選別作業を徹底させる。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 人力及び機械併用にて、産業廃棄物の種類ごとに分別を行っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 前年度に引き続き、同様の分別作業を行う。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 6年度）実績】		
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	紙くず	管理型混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実績無し		

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	紙くず	管理型混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和 6 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	紙くず	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実績無し		

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	紙くず	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（令和 6 年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	管理型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組) 実績無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	管理型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
産業廃棄物の種類			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組) 無し			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

①現状

【前年度 (6年度) 実績】		
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
全 処 理 委 託 量	913.6 t	129.7 t
優良認定処理業者への委託量	10.1 t	49.4 t
再生利用業者への委託量	913.6 t	129.7 t
認定熱回収業者への委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
全 処 理 委 託 量	40.6 t	12.7 t
優良認定処理業者への委託量	29.6 t	10.7 t
再生利用業者への委託量	40.6 t	12.7 t
認定熱回収業者への委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)
排出事業者責任の元、処分場の現地調査を行って委託業者を選定した。

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
全 処 理 委 託 量	900.0 t	100.0 t
優良認定処理業者への委託量	20.0 t	60.0 t
再生利用業者への委託量	900.0 t	100.0 t
認定熱回収業者への委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
全 処 理 委 託 量	20.0 t	10.0 t
優良認定処理業者への委託量	20.0 t	10.0 t
再生利用業者への委託量	20.0 t	10.0 t
認定熱回収業者への委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0 t	0 t

(今後実施する予定の取組)
引き続き、排出事業者責任の元、処分場の現地調査を行って委託業者を選定する。優良認定事業者への搬入を促進する。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

		【前年度 (6 年度) 実績】				
		産業廃棄物の種類		紙くず	管理型混合廃棄物	
①現状	全 処 理 委 託 量	1.2	t	21.0	t	
	優良認定処理業者への委託量	0	t	21.0	t	
	再生利用業者への委託量	1.2	t	0	t	
	認定熱回収業者への委託量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0	t	0	t	
			産業廃棄物の種類		金属くず	石綿含有産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	0.3	t	3.1	t	
	優良認定処理業者への委託量	0	t	0	t	
	再生利用業者への委託量	0.3	t	0	t	
	認定熱回収業者への委託量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0	t	0	t	
	(これまでに実施した取組) 排出事業者責任の元、処分場の現地調査を行って委託業者を選定した。					

		【目標】				
		産業廃棄物の種類		紙くず	管理型混合廃棄物	
②計画	全 処 理 委 託 量	1.0	t	15.0	t	
	優良認定処理業者への委託量	1.0	t	15.0	t	
	再生利用業者への委託量	1.0	t	0	t	
	認定熱回収業者への委託量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0	t	0	t	
			産業廃棄物の種類		金属くず	石綿含有産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	0.1	t	2.0	t	
	優良認定処理業者への委託量	0.1	t	2.0	t	
	再生利用業者への委託量	0.1	t	0	t	
	認定熱回収業者への委託量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0	t	0	t	
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、排出事業者責任の元、処分場の現地調査を行って委託業者を選定する。優良認定事業者への搬入を促進する。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

①現状	【前年度 (6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
(今後実施する予定の取組)			